

令和6年度における地方公共団体からの寄附について

公表年月日：令和7年6月16日

公表者：国立大学法人新潟大学長 牛木 辰男

以下のとおり、地方公共団体から寄附金を受領しましたので、公表します。

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県十日町市	29,000,000 円	令和6年4月30日	寄附講座 (十日町いきいきエイジング講座)	十日町市民が安心して満足な老後を送れるように、「出向くケアと医療」の仕組みづくりに関する研究を行い、その研究成果の普及と人材の育成、地域住民への啓発を行うことで、地域医療・地域包括ケアの充実に寄与することを目的に、令和元年度に十日町いきいきエイジング講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：R1.10.1 設置期間：R1.10.1～R4.9.30 更新期間：R4.10.1～R7.9.30 令和4年度：29,000,000円 令和5年度：29,000,000円 令和6年度：29,000,000円
新潟県妙高市	40,000,000 円	令和6年4月30日	寄附講座 (消化器疾患診療ネットワーク講座)	妙高市民における消化器疾患の発症及び進行に関する実態と要因を明らかにし、死因でもっとも高い悪性新生物の半数以上を占める消化器系がんと、その原因となる加齢及び生活習慣病関連消化器疾患の発症の関与を解明することで、妙高市民の健康寿命を延ばすための施策立案を科学的かつ効率的に進めるための研究と、必要な診療ネットワークの構築を推進することを目的に、令和元年度に消化器疾患診療ネットワーク講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H31.4.1 設置期間：H31.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：40,000,000円 令和5年度：40,000,000円 令和6年度：40,000,000円
新潟県	22,460,000 円	令和6年4月19日	寄附講座 (家族性・遺伝性腫瘍学講座)	新潟大学医歯学総合病院及び県立がんセンター新潟病院を臨床研究フィールドとして、遺伝性乳がん・卵巣がんなどの女性がんの予防、検診、診断等に関する研究を行うとともに、遺伝カウンセリング体制の整備とそのために必要な人材育成や県民への普及啓発を推進することにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、平成28年度に家族性・遺伝性腫瘍学講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H28.11.1 設置期間：H28.11.1～R4.10.31 更新期間：R4.11.1～R7.10.31 令和4年度：22,460,000円 令和5年度：22,460,000円 令和6年度：22,460,000円
新潟県阿賀野市	10,000,000 円 10,000,000 円	令和6年4月26日 令和6年10月29日	寄附講座 (健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講座)	阿賀野市民における小児期から老年期までの、生活習慣病の発症・進行に関する実態と要因を明らかにし、健康寿命を短縮させる脳梗塞、心筋梗塞、腎透析、認知症、骨粗鬆症による骨折、サルコペニアなどの疾病予防ならびに健康増進のための施策立案を、科学的かつ効果的に進めるための研究を行うことを目的に、平成27年度に健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H27.10.1 設置期間：H27.10.1～R6.9.30 更新期間：R6.10.1～R9.9.30 令和6年度：20,000,000円

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県小千谷市	20,000,000円	令和6年4月19日 令和6年10月15日	寄附講座 (フレイル予防のための運動器科学講座)	小千谷市の保険事業「骨粗鬆症検診」受診者及び関節症等運動器の障害がある者を適切な治療につなぐと共に、生活習慣の改善を図る実践型プログラムの開発と科学的検証を行うことで、転倒骨折のリスクを減らして移動能力を高めることにより、要介護状態の短縮を図り健康寿命の延伸を図ることを目的に、平成30年度に健康寿命延伸・フレイルとロコモ予防医学講座を設置した。 また、設置期間の延長に伴い、令和3年10月から講座名をフレイル予防のための運動器科学講座に改称した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H30.10.1 設置期間：H30.10.1～R6.9.30 更新期間：R6.10.1～R9.9.30 令和6年度：20,000,000円
新潟県阿賀野市	40,000,000円	令和6年4月26日	寄附講座 (健康寿命延伸・運動器疾患医学講座)	阿賀野市民における骨粗鬆症とそれによる大腿骨頸部骨折、胸椎、腰椎圧迫骨折等運動器の疾患により、日常生活動作の低下と骨格筋量及び骨格筋力の低下を特徴とする症候群の機序の関与を解明することで、阿賀野市民の健康寿命を延ばすための施策立案を、科学的かつ効果的に進めるための研究を行うことを目的に、令和元年度に健康寿命延伸・運動器疾患医学講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H31.4.1 設置期間：H31.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：40,000,000円 令和5年度：40,000,000円 令和6年度：40,000,000円
新潟県	14,980,000円	令和6年4月19日	寄附講座 (消化器疾患低侵襲予防医学開発講座)	県立吉田病院を臨床研究フィールドとして、同病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制の充実に向けた研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、次世代検診モデルの構築と医師の養成を図ることにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、令和元年度に消化器疾患低侵襲予防医学開発講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H31.4.1 設置期間：H31.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：14,980,000円 令和5年度：14,980,000円 令和6年度：14,980,000円
新潟県弥彦村	680,000円	令和6年4月30日	寄附講座 (消化器疾患低侵襲予防医学開発講座)	県立吉田病院を臨床研究フィールドとして、同病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制の充実に向けた研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、次世代検診モデルの構築と医師の養成を図ることにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、令和元年度に消化器疾患低侵襲予防医学開発講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H31.4.1 設置期間：H31.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：680,000円 令和5年度：680,000円 令和6年度：680,000円
新潟県三条市	100,000円	令和6年4月24日	工学研究助成のため	三条市と協働でまちづくり活動を実施した実績がある本学教員の地域におけるまちづくりや建築デザインに関する研究の更なる発展を助成することを目的として、寄附金の申込みがあり、寄附を受け入れるに至った。	

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県	22,460,000 円	令和6年4月19日	寄附講座 (地域精神医学講座)	県立精神医療センターを臨床研究フィールドとして、精神疾患に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、治療モデルの確立と医師の養成を図ることにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、平成27年度に地域精神医学講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H27.4.1 設置期間：H27.4.1～R6.3.31 更新期間：R6.4.1～R9.3.31 令和6年度：22,460,000円
新潟県燕市	6,800,000 円	令和6年4月26日	寄附講座 (消化器疾患低侵襲予防医学開発講座)	県立吉田病院を臨床研究フィールドとして、同病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制の充実に向けた研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、次世代検診モデルの構築と医師の養成を図ることにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、令和元年度に消化器疾患低侵襲予防医学開発講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H31.4.1 設置期間：H31.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：6,800,000円 令和5年度：6,800,000円 令和6年度：6,800,000円
新潟県	59,230,000 円	令和6年5月22日	寄附講座 (健康増進医学講座)	総合地域医療医の養成その他の地域医療に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、地域医療の向上と本県民の健康増進に寄与することを目的として、平成23年度に健康増進医学講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H24.1.1 設置期間：H24.1.1～R6.3.31 更新期間：R6.4.1～R7.3.31 令和6年度：59,230,000円
新潟県弥彦村	800,000 円	令和6年7月10日	地域保健における歯科疾患の予防に対する助成	本学地域保健における歯科疾患の予防に対する研究内容に賛同し寄附金の申し込みがあり、寄附を受け入れるに至った。	
新潟県	170,915,000 円 1,500,000 円	令和6年5月21日 令和6年12月27日	寄附講座 (新潟地域医療学講座) ※令和4年4月1日改称 (地域医療確保・地域医療課題解決支援講座)	新潟の地域医療の現場に根ざした研究による地域医療提供体制整備への貢献、卒前教育から専門研修までを切れ目無く支援することによる地域医療に従事する医師の育成、新潟の地域医療に求められる医師の育成、県内医療機関における専門研修の充実、シミュレーション教育の充実による良質な医療人材の育成を図ることを目的に、平成28年度に新潟地域医療学講座を設置した。当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。また、設置期間の延長に伴い、講座名を地域医療確保・地域医療課題解決支援講座に改称した。	寄附講座設置日：H28.4.1 設置期間：H28.4.1～R4.3.31 更新期間：R4.4.1～R7.3.31 令和4年度：170,915,000円 令和5年度：170,915,000円 令和6年度：172,415,000円
新潟県十日町市	1,000,000 円	令和6年8月30日	新潟大学医学部小児科学教室 (新潟大学医歯学総合病院小児科) 発展のため	新潟大学医学部小児科学教室(新潟大学医歯学総合病院小児科) 発展のために寄附をいただいているもの	

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県	21,960,000 円	令和6年4月19日	寄附講座 (地域医療健康学講座)	県立中央病院及び県立新発田病院を臨床研究フィールドとして、生活習慣病及び血液疾患に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及啓発を行い、治療モデルの確立と医師の養成を図ることにより、安全で安心な医療の提供と地域住民の福祉の増進に寄与することを目的に、平成30年度に地域医療健康学講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H30.4.1 設置期間：H30.4.1～R6.3.31 更新期間：R6.4.1～R9.3.31 令和6年度：21,960,000円
新潟県小千谷市	20,000,000 円	令和6年4月25日	寄附講座 (地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座の設置および運営のため)	心臓リハビリテーションを含む内部障害リハビリテーションの体制と多職種チームを整備し、地域の病院と病院の連携の強化、医療介護の連携により住民の疾病管理や健康寿命の延伸を図る研究を展開することを目的に、令和6年度に地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：R6.4.1 設置期間：R6.4.1～R9.3.31 令和6年度：20,000,000円
新潟県阿賀野市	40,000,000 円	令和6年4月26日	寄附講座 (健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座の設置及び運営)	阿賀野市民における消化器病の発症・進行に関する実態と要因を明らかにし、健康寿命を短縮させる消化器がん、その原因となる加齢及び生活習慣に関連する消化器疾患の発病及び進行と合併する進行性並びに全身性の骨格筋量及び骨格筋力の低下を特徴とする症候群の機序の関与を解明することで、阿賀野市民の健康寿命を延ばすための施策立案を、科学的かつ効果的に進めるための研究を行うことを目的に、平成30年度に健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座を設置した。 当該寄附講座の令和6年度分の運営に係る費用として、寄附を受け入れるに至った。	寄附講座設置日：H30.4.1 設置期間：H30.4.1～R6.3.31 更新期間：R6.4.1～R9.3.31 令和6年度：40,000,000円
新潟県	50,000,000 円	令和6年4月11日	“日本一”の医師育成拠点創設基金	新潟県は、国が示した医師偏在指標（2024年）において、全国ワースト3位の医師少数県とされており、本学では、新潟県からの要請に応え、令和5年度から医学部医学科の入学定員を全国最多の140名に増員した。これに伴い、規模の“日本一”にとどまらず、教育の質を拡充し、「社会から求められる医療人」を育成する“日本一”の拠点となることを目指すため当該基金を設置し、その趣旨に賛同を得て、寄附を受け入れるに至った。	令和8年6月22日追加
新潟県	350 円 1,656 円 1,368 円	令和6年7月19日 令和6年10月18日 令和7年1月20日	ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた支援基金	サントリービバレッジソリューション株式会社と共同で、自動販売機の売上の一部を新潟大学基金を通じて「ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた」へ寄附する支援型自動販売機を新潟県内に設置・展開しており、そのご寄附をいただいているもの。	令和8年6月22日追加

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県見附市	729,851 円	令和6年4月12日	超低温フリーザー MDF-C8V1-PJ 他2台	新型コロナウイルスワクチン保管用として使用していたが、令和6年度以降新型コロナウイルスワクチン接種はインフルエンザと同様の定期接種に位置づけられたため、自治体でコロナワクチンを保管する必要がなくなった。そこで、不要となったフリーザーを有効活用するため、寄附をいただいたもの	

寄附者名	寄附金等の金額	受領年月日	内容	寄附に至った経緯	備考
新潟県刈羽郡刈羽村	274,084 円	令和6年4月26日	超低温フリーザー MDF-C8V1-PJ	新型コロナワクチン保管用として使用していたが、令和6年度以降新型コロナワクチン接種はインフルエンザと同様の定期接種に位置づけられたため、自治体でコロナワクチンを保管する必要がなくなった。そこで、不要となったフリーザーを有効活用するため、寄附をいただいたもの	
新潟県五泉市	839,550 円	令和6年4月30日	超低温フリーザー MDF-C8V1-PJ 他7台	新型コロナワクチン保管用として使用していたが、令和6年度以降新型コロナワクチン接種はインフルエンザと同様の定期接種に位置づけられたため、自治体でコロナワクチンを保管する必要がなくなった。そこで、不要となったフリーザーを有効活用するため、寄附をいただいたもの	
新潟県三島郡出雲崎町	392,444 円	令和6年5月2日	超低温フリーザー MDF-C8V1-PJ 他1台	新型コロナワクチン保管用として使用していたが、令和6年度以降新型コロナワクチン接種はインフルエンザと同様の定期接種に位置づけられたため、自治体でコロナワクチンを保管する必要がなくなった。そこで、不要となったフリーザーを有効活用するため、寄附をいただいたもの	
新潟県魚沼市	1,002,285 円	令和6年5月27日	超低温フリーザー MDF-C8V1-PJ 他4台	新型コロナワクチン保管用として使用していたが、令和6年度以降新型コロナワクチン接種はインフルエンザと同様の定期接種に位置づけられたため、自治体でコロナワクチンを保管する必要がなくなった。そこで、不要となったフリーザーを有効活用するため、寄附をいただいたもの	